

外環オープンハウスについて

会場名：世田谷区立喜多見東地区会館

日時：8月10日(日) 10:00～16:00

来場者：246人(男性：155人 女性：91人)

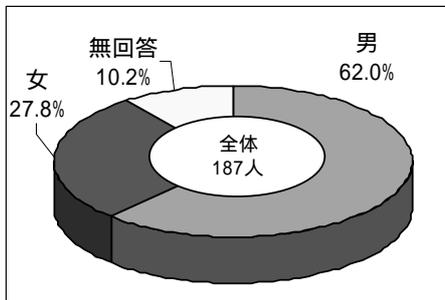


会場の様子

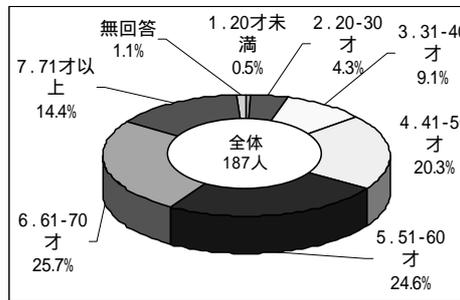
アンケートの結果概要について

回答者属性

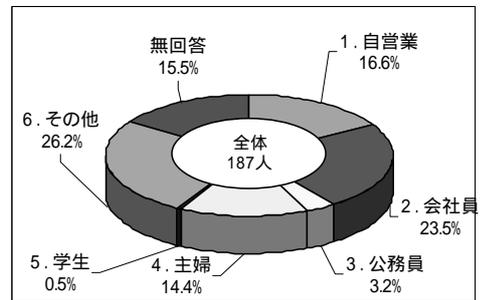
性別



年齢

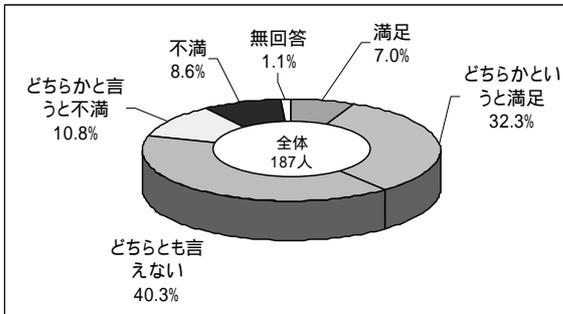


職業

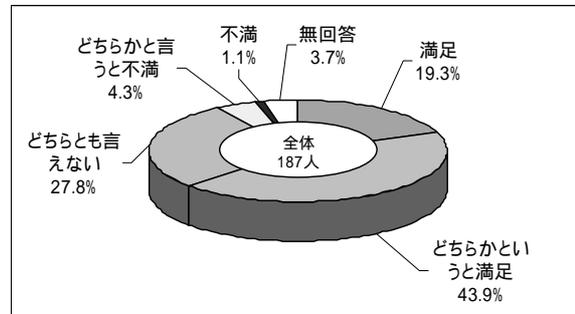


外環オープンハウスについて

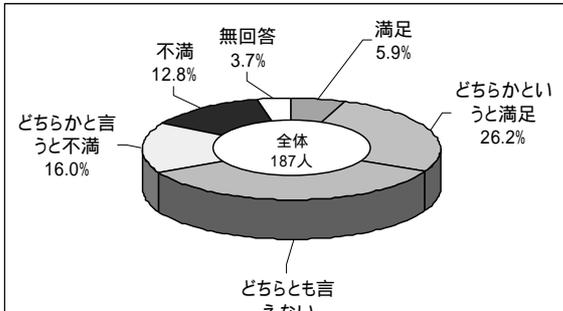
「外環オープンハウス」の印象



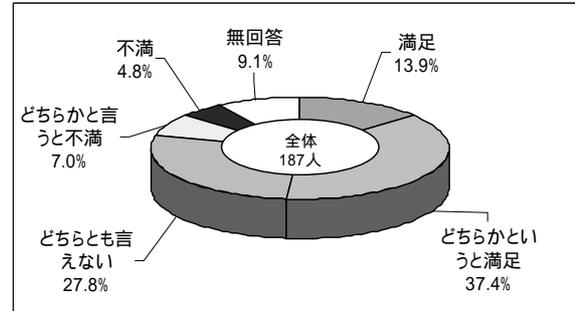
対応した係員の態度



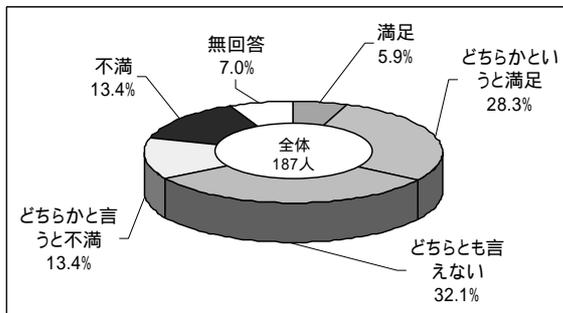
提供された情報の量



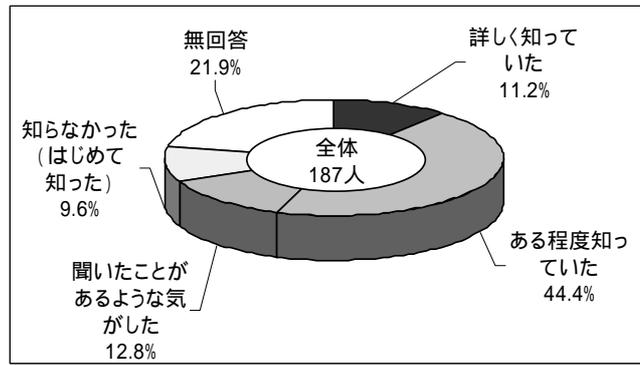
説明員の説明が理解できたか



必要な情報は得られたか

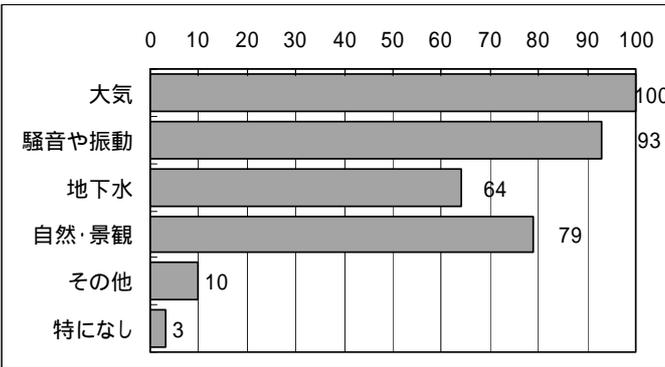


「PI外環沿線協議会」の認知度

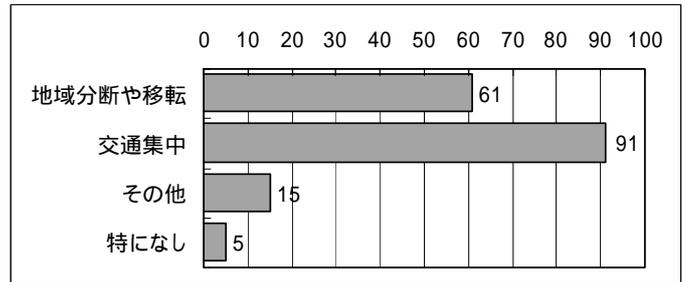


「PI外環沿線協議会」でより深く議論すべき項目

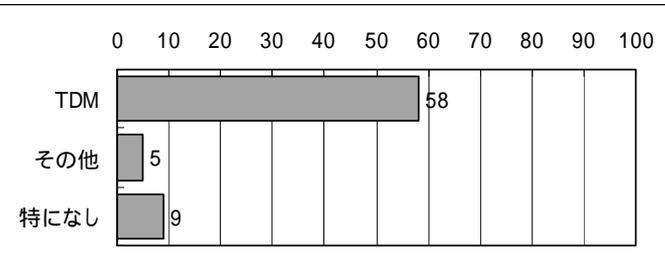
A) 環境への影響 (複数回答)



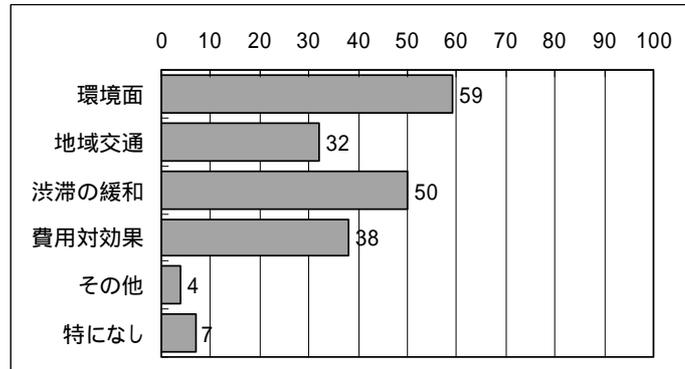
B) 生活への影響 (複数回答)



C) 交通政策 (複数回答)



D) 効果 (複数回答)



主な自由意見

世田谷通ジャンクションは不要、世田谷通りは現在でさえ車両通行の余裕無し。
 世田谷通りにインターチェンジが出来る場合の騒音や大気汚染、また環境という不動産価値の低下を懸念しています。野川沿いの貴重な自然環境に大きな影響を与えるような計画には反対です。都内では貴重な自然が保存されている野川に、環境に配慮するとはいってもわざわざインターチェンジを造る必要があるのか疑問です。交通量がさらに増し、一般道も交通量が増え、大気が非常に心配であり、大気についてもこれ以上に悪くならないで欲しいと思う。
 世田谷区内はどうしても地上部分に道路が作られる計画です。騒音・振動の問題は避けることのできない地域にとっては重大問題です。
 世田谷通りの交通の増加はこれ以上望みません。
 野川沿いのグリーンベルトを壊さずに守ってほしい。
 野川や喜多見の昔からの景観を出来る限り壊さないような計画をお願いします。
 地域に対しての会場であるので、もっとディテールを色々な視点で説明してほしい。
 現行のパネル、模型の展示の他に主催者のスライドによる説明会が設けられると、参観者の理解により良いと思います。
 日本型 PI を創出してください。実際に関わらずに外から見ている人間には住民参加を形式的にとっているように見えます。十分な議論を、そして外に向けての議論の場をもっと設定してください。

